

令和5年度学校評価報告書

令和6年（2024年）3月14日

北海道教育委員会教育長 様

北海道旭川商業高等学校長 仁 藤 隆

次のとおり令和5年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- | |
|---|
| (1) 主体的に学ぶ意欲と確かな学力を育む。
(2) 自律的な生活態度と豊かな人間性を育む。
(3) 望ましい勤労観・職業観と主体的に進路を選択する力を育む。
(4) 健やかな心身と生命を尊重する態度を育む。 |
|---|

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学 校 経 営	重点目標は今日的課題に対応しており、実現に向けて概ね取り組んでいる。	例年より新しい取組を実践しており、学校教育活動の活性化が見られる。
改 善 方 策	魅力ある学校づくりを推進していくとともに、地域における体験的な活動を通じ、地域産業の持続的な成長を担う生徒の育成を進める。	
学 習 指 導	学習内容の重点化、精選化は進められている。ICTの効果的な活用や生徒の個別最適な学びを推進する。	適切な学習活動が行われていると評価するが、小・中学校でBYODを活用してきた生徒に対する対応が課題である。
改 善 方 策	ICTの活用のために、校内外での研修等へ積極的な参加を働きかけ、小・中学校での取組を学び、ICTを活用した授業の改善・充実を図る。	
生 徒 指 導	いじめ等の問題行動や学校不適応の未然防止や早期対応については全日制・定時制ともに概ね評価が高い。定時制では、特別支援を必要とする生徒への的確な指導が一層求められている。	教職員間の共通理解と連携を高めるとともに、不登校やいじめを未然に防ぐ取組を充実させてほしい。
改 善 方 策	教職員間の共通理解と連携をさらに強化するとともに、不登校やいじめの未然防止に向け、教育相談活動の充実とスクール・カウンセラー等の効果的な活用を推進する。	
進 路 指 導	地域社会に信頼され、貢献できる人材の輩出については評価が高い。教職員の連携や進路情報の共有が求められている。	就職内定状況や難関大学への合格などの結果については、学校の手厚い指導によるものと考え。今後も継続してほしい。
改 善 方 策	生徒の社会的・職業的な自立に向け、キャリア教育の充実を図る。生徒自身がより主体的に進路を選択する力を養っていききたい。	
健 康 安 全 指 導	一日防災学校や交通安全、薬物乱用防止教室など指導の充実を図っている。生徒、教職員ともに感染予防に係る適切な対応を図っている。	適切な評価であり、次年度以降の取組の継続を期待する。
改 善 方 策	教職員に対し、学校内外での研修を促し、全教職員で健康安全教育への意識高揚を図る。特に不登校や特別な配慮を必要とする生徒への対応について改善していく。	
特 別 活 動	生徒会活動や部活動は積極的に取り組むよう適切な指導を行っている。LHRや特別活動の計画を立案・実施については改善の必要がある。	今年度は学校外での活動や外部機関との連携など、積極的な取組が多く非常によい。今後とも、地域社会と連携した取組を推進していくことを望む。
改 善 方 策	生徒の自主的な活動について更なる充実に努める。特別活動の年間計画を見直し、より充実した内容を実施できるよう、改善を図る。	
P R 活 動	中学校教員に対する説明会や学校見学会、中学校訪問について、概ね十分である。	中学の教員に対し、商業高校の取組についてさらに伝えていく取組が必要である。
改 善 方 策	学科の特徴や特色ある教育活動を特に中学生に伝えていくため、説明会や見学会の充実を図る。また資格取得等についても、より広く発信することを継続していく。	
公 表 方 法	We b ページへの掲載	

3 添付書類

- ・令和5年度 自己評価書
- ・令和5年度 学校関係者評価書（P T A役員・学校評議員）